



PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年1月6日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

～期待を実績に！～

衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部長

こやま 展弘

小山のぶひろ 氏に訊く



新年おめでとーございませす

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年の衆議院選挙におきましては、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

昨年臨時国会と本年の通常国会におきまして、私は、財務金融委員と災害対策特別委員に就任することとなりました。財務金融委員については、農林中央金庫職員として、融資や金融機関の体制整備に関わった経験を生かしたいと考えております。災害対策特別委員会については、東海地震対策に主に取組み、地元の声国会に伝えていくことが、自分の使命だと考えております。

さて、日本経済は、統計上ではいくつもの指標において改善の兆しが見られますが、中小企業の皆様にとつては大変厳しい経営環境・資金繰環境が続いております。こうしたことから、政府は事業規模二四兆四千億円(国費七兆二千億円)の「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を策定しました。景気のさらなる悪化・二番底を食い止めるべく、今後とも適切な経済政策を行ってまいれる所存です。

ところで、昨年の政治的な大きな変化は、大変な不況が続く中、閉塞感を打破すべく、皆様の「変化に対する期待」、国債の発行額が税収を上回るような、家計では考えられないような日本の財政状況に対する危機感が大きかったためではないかと考えています。また一

行き過ぎを是正すべきとの認識が広がったためでもあったとも思います。皆様の期待に応えるには、まず、天降りやわたりなどの中央政府の「甘え」や非効率なお金の使い方方を改めなければならぬことは言うまでもありません。そのうえで、できうる限り国債の発行額を抑え、「事業仕分け」などにより優先順位の低い事業については見直しを行っていかねければなりません。しかしながら一方で、景気をさらに悪化させないための諸施策を打つとともに、格差是正にも取り組んでいかなければなりません。不況の影響で税収が減少する中、時として相反するこの「時代の要請」に応じていくことは困難を伴いますが、行政にしかできない必要な事業についてはしっかりと行いつつ、「甘えを許してはいけないが、痛みを共有する姿勢」を持って、粘り強くこの課題に取り組むべきであると考えております。

国と地方との関係につきましては、これから地方に大きく権限を委譲していくべきと考えています。自分達の町のことを自分達で決められるからこそ、住民のアイデアが生かされ、そこに新たな発展がみられると思います。中央政府の権限が縮小され、活力ある地方どうしが交流する「新しい中世」モデルを一つの指針とすべきではないかと考えております。

衆議院議員 小山 展弘



号外 静岡3区版

2010年1月6日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

小沢幹事長 盛岡で会見

参院選 61議席獲得を目指す

小沢一郎幹事長は20日、盛岡市内で記者会見し、来年夏の参院選挙に向け、121ある改選議席の過半数61議席の獲得を目指し、全力で臨む決意を表明しました。

小沢幹事長ははじめに、参院選挙に民主党としてどう臨むかを問われ、「岩手県内については旧来から県民の皆さんから広く厚い支持をいただいております、ぜひ来年夏も圧倒的なご支持、ご支援を賜りたいと考えています。全国レベルとしては、改選議席の過半数、61議席の当選を目指して全力を挙げたい」と語りました。

次に、岩手県において民主党が市町村議長選挙の相乗り禁止を打ち出したことへの見解および全国的に相乗り禁止とする考えかとの質問については、「本来、議会制民主主義イコール政党政治であり、各級の選挙において政党を名乗るのが欧米の先進民主主義国では当たり前のこと」として、将来日本でもそうした考え方が国内、国民の皆さんの間に定着することによって、結果として相乗り禁止になっていくだろうと分析しました。

そのうえで、「まず都道府県、政令指定都市といった大きな行政単位のところで徹底させることによって、議会制民主主義、政党政治の基本を、党员も国民も理解してもらいたいと思っている。また、そのような選挙が民主党の党勢の拡大、基盤強化に繋がると考えているので、現時点では可能な限り同じ志を持つ候補者が地方行政を担当することになれば結構なことだと思っている」と述べました。

小山のぶひろ プロフィール

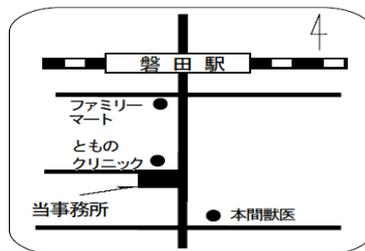
- 1975年 12月26日 掛川市(旧小笠郡 大須賀町)生まれ、磐田育ち。
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園卒園
- 1988年 磐田市立磐田西小学校卒業
- 1991年 磐田市立磐田第一中学校卒業(水泳部所属)
- 1994年 静岡県立磐田南高等学校卒業(弓道部所属)
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程修了(政治学修士)
- 2001年 農林中央金庫(JAバンク)入庫(2006年 退職)
- 2006年 松下政経塾入塾(民主党静岡県第3区総支部長就任により自主退塾)
- 2007年 日本公共政策学会入会(現在、日本公共政策学会員)
民主党静岡県第3区総支部長就任
- 2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選。衆議院議員(財務金融委員会 災害対策特別委員会所属)。
磐田市中泉(西新町)在住。



民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉(御殿)656-1
TEL 0538-39-1234
FAX 0538-39-1235
E-mail n_koyama@aroma.ocn.ne.jp

※お気軽にご連絡・ご来所ください(磐田駅南口より徒歩3分)。



※駅南口より
徒歩3分